



アオバズク

うたごよみ 文月

〔短歌〕

渡辺幸士 選

紫陽花を一輪手折り玄閑に飾ればひとしお
輝きており 池田キヨ子

子供たち亡夫の命日忘れずにわたしの事も
お参りしてね 赤星 文子

工事まだ始まらぬ朝久々に鶯の声聞くは久
しき 塚原 暁益

早梅雨に畑の仕事も遅れがち田植えの前に
焦る日々なり 緒方 明美

二十年前の浴衣の蝶は今マスクとなりてコ
ロナを防ぐ 内田乃武子

雨上がりコロナも知らず木々の葉の葉末の
滴かずかぎりなし 吉永由紀子

若夏の空に見果てぬ夢追えば八丁蜻蛉涼し
げに飛ぶ わかなつ 渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士 選

「お盆」

ふるさとは寝巻きでもよし盆踊り 川村 文子
盆踊りうしろの顔が見たくなり 清川みどり

「そわそわ」

そわそわとひねもす人を待っている 日隈 俊郎
そわそわと人事異動の知らせ待つ 渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美 選

若返り 服は子供と催合うとる 広田みどり

若返り 三千段も何のその 下山 千恵

若返り 彼と彼女の仲てげな 志垣 光

若返り も一度嫁る気になった 佐藤 葵

若返り 首は見なすな爪見てよ 平井やよい

若返り 明日のデートは何処にしゅう 長原 産賀

若返り 同年なのにジム通い 光永 六

若返り 同窓会の母の顔 井元あさみ

若返り やりたい事が増えて来た 日高 美里

若返り 妹に間違えられた 上田 梅清

若返り 老いた枝にも芽の出よる 中村 南幸

若返り しょっちゅう鏡見るこたる 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447 (内線321)

ひとの動き (敬称略)

5月11日(火)～6月10日(木)

birth お誕生おめでとう				
住所	氏名	性別	保護者	
上早川	山下 珠藍	女	太一	
西寒野	岩井 柚樹	男	光	

marriage ご結婚おめでとう				
住所	氏名			
〔夫〕	船 津 森田晋太郎			
〔妻〕	熊本市 富田 有紀			
〔夫〕	世 持 上田 将吾			
〔妻〕	熊本市 下田 聖歌			
〔夫〕	東寒野 山下 啓輔			
〔妻〕	熊本市 平林美智子			
〔夫〕	熊本市 鞭馬 廉			
〔妻〕	田 口 坂野 優里			

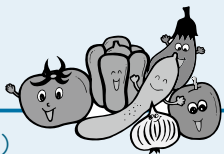
condolence お悔やみ申し上げます				
住所	氏名	年齢	世帯主	
中 山	古閑チヨミ	95	チヨミ	
豊 内	堀 伸子	91	伸 子	
東寒野	稲葉タエ子	99	早 苗	
下横田	浅木シマコ	95	真 也	
津志田	中村 奉文	88	フジ子	
岩 下	白石 隆雄	88	紀美子	
豊 内	浜村 儀一	89	澄 子	
田 口	里形ミサ子	91	敦	
東寒野	中原 智子	75	光 博	
岩 下	蒲地 達也	88	厚 子	

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	4,985	▲2
女	5,411	1
計	10,396	▲1
世帯数	4,363	7

令和3年5月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう！

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）



サツマイモのサンドイッチ

ご存じですか？

サツマイモの収穫は9～11月頃ですが、食べ頃は収穫の1カ月より後になるってご存じですか？

野菜は採れたてが新鮮で美味しいですが、サツマイモやカボチャは収穫した後1カ月ほど冷暗所で保管します。これはサツマイモのデンプン成分が糖に変化して甘くなるからです。

サツマイモには、ビタミンA・B・C・Eが、良いバランスで含まれています。特にビタミンCが多く含まれており、風邪やストレスなどへの抵抗力をつけてくれる食材です。

熟成が進み、甘くなったサツマイモを楽しんでみましょう。



作り方

- ①サツマイモを洗ったら、水滴を切らずにラップで包み、600ワットレンジで3分程度加熱します。
- ②サツマイモは熱いうちに皮を剥きボウルに入れて、フォークなどで粗く潰しておきます。
- ③3ミリの厚の輪切りにしたキュウリを塩で揉み、絞ります。
- ④ツナは余分な油を切っておきます。
- ⑤サツマイモとキュウリ、ツナをマヨネーズといっしょに混ぜ合わせます。塩コショウで味を調えましょう。
- ⑥食パン2枚に塗り広げて残り2枚の食パンでそれぞれサンドします。食べる前に切り分けてみましょう。ラップで包んで切ると型崩れしませんよ。

材 料（2人分）

食パン6枚切り …… 4枚
 サツマイモ …… 1本
 キュウリ …… 1/2本
 ツナ缶（小） …… 1缶
 マヨネーズ …… 大さじ2～3
 塩コショウ …… 適宜

編集後記

強い日差しと気の早い蝉の声に夏の到来を感じるようになりました。あちこちで田植えが進み、田を満たす水の豊かさを実感します。今月号では、そんな緑川の水の恩恵を享受する私たちのまちの歴史についてお伝えしています。

取材を通して、毎日見る景色に溶け込んだ、このまちの歴史に改めて驚かされました。お話を聞かせていただいた清村一男さんは、小学校時代の恩師でもあり、20数年ぶりの再会となりました。広報紙での紹介を通して、少しでも恩返しできたような気がします。

特集記事を書くにあたり、過去の陣ノ内特集を調べていると、若かりし頃の清村先生と西口係長を見つけました。人や広報紙にも歴史があります。気になる人は「広報こうさ2010年7月号」で検索を！

（と）